

2013.12.5

【第三種郵便物】

来年4月の消費増税に向け、イオンは税抜きの本体価格（外税）中心の表示にする方針を決めた。税込みの総額も併記しつつ、税抜きの方を大きく示す。セブン＆アイ・ホールディングスがすでに同様の対応を決定。スーパー業界は商品の本体価格を強調する表示で足並みがそろうことになる。

## イオン「税抜き」表示

### 増税時、スーパー足並みそろう

た。だが来春の消費税率引き上げ時に増税分を円滑に転嫁するため、今年6月成立の特別措置法で、税抜きの表示が今年10月から17年3月まで認められた。イオンは1月から順次、傘下の総合スーパー、や食品スーパー、コンビニエンスストアのミニストップなどで表示を切り替える。小売店での価格表示は2004年、税込みの総額表示が義務づけられ

### 来月から順次、総額も併記

#### 税抜き価格を中心とする表示

現在

**105円**  
(税込みの総額)

(注) 増税後は本体価格と総額を併記する場合のイメージ

来年4月の増税後

**100円**  
(税抜きの本体価格)

**108円**  
(税込みの総額)

も税抜き表示の採用を決めている。小売業界では総額表示のみの場合、商品自体が値上がりした印象を与える、消費の落ち込みを懸念する声が根強い。消費者の「レジで実際に支払う額を知りたい」という要望にも配慮し、総額も併記する。食品スーパー大手のラ・イフコーポレーションは、全国スーパーを中心構成する日本チェーンストア協会がすでに税抜き表示を基本とする方針を決定。セブン＆アイも足並みがそろう格好になる。ストリーディングなどを